

日野市立平山中学校 第2回学校運営連絡協議会の報告

日時（場所）：令和4年10月11日（火）17：00～18：10 （被服室）

主な議題 ①学力調査結果と課題（教務部より） ②地域防災訓練の取組（生活指導部より）
③進路説明会について（進路指導部より）④地域連携型学校運営について（校長より）

〔主な協議内容及び学校評議員からのご意見・ご要望、今後の取組等について〕

【学力について】

- ・中学1年4月の市の学力調査の結果を踏まえ、特に小学校との連携による学力向上の取組が必要である。算数の四則計算や小数・分数計算を苦手とする児童が中学に上がってくるため、放課後の学習支援などの取組の工夫などが期待される。学校は小中連携による授業改善への取組（9月8日実施）を踏まえ、今後も交流を充実させていく。中学2年の社会科の「内容がよく分かる」生徒の割合が高く、理由を検証したい。
- ・低学力の問題は、生活面や家庭での学習環境（学習習慣）及び地域の特性など様々な要因が複雑に絡んでいる。学校は、放課後の学習支援、保護者への啓発、カンガルーム（不登校支援）の在り方、不登校生徒の家庭への働きかけをどうするかなど、今後さらなる充実に向けて検討していく。
- ・どの生徒にとっても「分かる授業」をめざし、今年度 ICT を活用した授業研究に全校で取り組んでいる。8月には全教員が実践事例を発表した。昨年度作成した UD を視点とした『平中スタンダード』をさらに活用し分かる授業づくりに努めていきたい。

【進路指導について】

- ・進路指導説明会の資料が充実している。学校への信頼にもつながる。
- ・インターネット出願やスピーキングテストなど変化が激しい入試制度だが、ICT化に向けて家庭のインターネット環境の整備、出願方法・手順の理解啓発が一層必要である。

【生活指導について】

- ・1学年の地域防災訓練では、消防署・消防団のご協力のもと、起震車体験、高齢者体験、初期消火・応急救護・担架搬送訓練を実施した（10月8日）。生徒の防災意識、地域貢献意欲、役立ち感などを高めることができた（アンケート結果より 生徒の肯定的回答96～98%）
- ・生徒は落ち着いて生活している。修学旅行、職場体験など計画通り実施できた。25日には合唱祭を控え、生徒は熱心に取り組んでいる。コロナ対策を講じながら、生徒の健康・安全を第一に教育活動を継続する。
- ・学校は、不登校・登校しぶりなど、家庭への働きかけを検討し、支援体制の充実を図る。

【その他】

- ・道徳授業地区公開講座（9月17日実施）では、リモートで岩手県の消防士から震災の体験を聞くことができたのは震災を知らない世代の子供たちにとって貴重な機会となり有意義だった。
- ・今後の「地域防災」を柱とした地域連携型学校運営（コミュニティスクール化）を進めていくにあたり、自主防災組織の確立、自治会や市の防災安全課との協働、小学校の防災への取組との連携などが考えられる。
- ・ウクライナ募金活動など、良い取組については地域にも事前に知らせてくれたらバックアップしたい。
- ・ものづくりの機会が大幅に減少し何でも買える時代にあって、ものづくりが「楽しい」、「やりたい」という生徒もいるので、意欲を育てたい。
- ・保護司による講演会（9月16日）では、2学年の生徒は真剣に聴き、積極的に質問もしていた。
- ・できる子ばかりでなく、ほめられることが少ない生徒、声をあげにくい生徒、主体的でなく殻に閉じこもりがちな生徒へのフォローをお願いしたい。
- ・道徳授業地区公開講座や防災訓練など、参加していただいた保護者の意識は高く、さらに多くの参加が求められる。